

# 脳神経系リハビリテーション

当院の脳卒中や脳腫瘍、神経難病の患者さんを中心に介入している専門チームの紹介です。これらの疾患は運動機能や嚥下機能、認知機能の低下をきたし、座る・歩く・食べる・会話するなど当たり前のことだけではなく、トイレに行く、着替えをするなど普段行えていた動作も難しくなってしまいます。私たち脳神経系チームは、患者さん一人一人の機能評価とゴール（元々の生活状況を踏まえて疾患や障害によって変化した新たな生活状況・環境）をリハチーム全体で把握し、個々に合わせた治療プログラムを確認・検討・修正しながら行っています。また、当院は多職種連携も強みです。医師や看護師、総合相談室のスタッフとカンファレンス以外にも随時連絡を取り合い、円滑な生活動作能力向上を支援し協同しています。

## 私たちが行っていること

### 伸ばす

入院日～翌日より開始しています。ICUの安静時期であってもゴールを見据えたベッド上介入を行っています。早期からのリハビリテーションは機能予後を良好にし、入院期間の短縮に繋がると言われています。



### 活かす

自律した入院生活を送れるよう適宜歩行補助具や自助具を貸し出しています。看護師と毎日情報共有を行い、日々患者さんが最大能力を発揮できるよう動作方法をアップデートしています。



### 確認する

退院される患者さんには、自宅で動作評価を行います。総合相談室のスタッフやケアマネージャー、福祉機器メーカーの方が同席し、ベッドや手すりの種類や位置、在宅支援サービスの検討などを行います。



### 連携する

脳血管疾患は回復に時間を要するため転院して頂く場合があります。当院は幾つかのリハビリテーション病院とネットワークで繋がっています。地域医療連携パスで転院を円滑にするだけでなく、世話人会、勉強会で情報共有や意見交換をし、地域に必要な連携のかたちを考えています。

